事業計画意見書に対する見解書

令和6年10月11日

吉岡亮衛 様

住 所 大阪府東大阪市若江西新町三丁目1番5号
事業計画者 氏 名 伊賀環境サービス株式会社
代表取締役 岸 田 昌 信

三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例（以下「本条例」といいます。）第25条第2項及び本条例規則第22条の規定により、貴殿の令和6年6月7日付、弊社の産業廃棄物処理施設の設置等の事業計画に対する意見書に対し、弊社の見解書を作成しましたので、ご確認の程、宜しくお願い申し上げます。

（貴殿からのご意見）

（図面上？イメージ図？）に記載された最下層の材質・目的について

（弊社見解）

貴殿がどの図を示してご質問されているか読み取れませんが、事業計画書にある図面あるいはイメージ図において、現時点で本件事業計画における何らかの意図や目的を図示しているものではございません。

（貴殿からのご意見）

セル方式のイメージ・覆土の調達・厚み・埋立した廃棄物の管理について

（弊社見解）

セル方式のイメージは事業計画説明書4頁のとおりです。

覆土は、基本、事業用地内から調達する予定です。覆土の厚みは法令上規定されているわけではないため、一定の基準を設けているわけではありません。ただし、産業廃棄物の飛散防止の観点から一定の厚みにて対応する予定です。

また、埋立容量は覆土を含んだ計画容量です（事業計画説明書3頁、1-2(3)②に記載）。

埋立した廃棄物の管理についてはメッシュ図（事業計画書7頁(12)に記載）というものを利用して管理しますので、ご記載のとおり廃棄物の撤去は可能です。

（貴殿からのご意見）

生態系の変化について

（弊社見解）

本件事業の生態系への影響に関しましては、文化財保護法、あるいは三重県自然保護条例が適用されることとなりますので、三重県と協議し適正かつ適法に対応させていただき所存でございます。

（貴殿からのご意見）

本件事業計画における跡地利用について

（弊社見解）

貴殿の記載のとおり平地が残る計画である理解で問題ございません。

跡地利用に関しましては、令和6年9月13日付、弊社見解書「A」をご参照ください。

(貴殿からのご意見)

本件事業計画における処理能力及び車両搬入台数等について

(弊社見解)

1日あたり300m³(平均20台)という事業計画は、弊社グループの滋賀県の最終処分場の実績をもとに記載させていただいております。

廃棄物を搬入するトラックは、積載する廃棄物の種類によって重量が異なります。よって、あくまで実績をもとに算出した計画で、平均した数量であることから、お示した数量以上の根拠をご説明することは難しいと考えます。

いずれにしましても、地域住民の方から交通量の増加、大型トラックの搬入台数についてご懸念が示されていますので、今後、本件事業計画における処理規模は三重県、地元住民の方のご意見を踏まえ、協議した上で、事業計画を確定していきたいと考えております。

(貴殿からのご意見)

土砂の取り扱いについて

(弊社見解)

事業用地内の工事で発生する土砂は、すべて事業地内で保管し、地盤改良の上、流用する予定です。防災対策につきましては、今後、三重県及び地元様と協議の上、決定したいと考えております。

その他事項に関しましては、令和6年9月13日付、弊社事業計画意見書に対する見解書(公告用※弊社ホームページにて縦覧済)をご確認くださいませ。